



江戸城かわら版



NPO法人江戸城天守を再建する会

令和二年十月二日

当会顧問作家
江戸歩き案内人
黒田涼氏

東京の空に 天守が 聳える！

九月一〇日に小学館応接室(千代田区)にて、ビッグコミック誌の連載漫画「江戸城再建」が全一五話で完結したことを記念して、漫画家の黒川清作氏、コラムを担当した作家の黒田涼氏、小学館編集者の夏目毅氏にお集まりいただき、「江戸城再建」の見どころをお話しいただきました。

連載 ビッグコミック 『江戸城再建』 完結記念 座談会

座談会参加者▶左から夏目氏、黒川氏、黒田氏(司会)



天守再建の夢と課題を描き切る!

再建されるなら 見てみたい

黒田・連載を終えられての、まずはお気持ちを伺えますか？
黒川・ほっとしたというより、監修の三浦先生のおかげで、城はこうやって造るということを本当に勉強にしたという記憶がよみがえってきました。

夏目・読者の声を拾っていると、天守がないこと自体を知らない人や、天守再建の運動の存在を知らない人が多かった印象を持ちました。再建には厳しい反対論もありましたが、こうした歴史的な建物を造ることができるとの目が多かっただけという賛成の声が多かったように思います。

黒田・監修の三浦正幸先生とはどのようにコラボをしておりましたか。

黒川・総合的なご意見から、天守や江戸城下の街並みなどの絵のチェックまで徹底的に監修していただきました。お城の建築がどのようなものなのか全く知らなかったところに、江戸城天

守の図面を復元した専門家に教えていただけることはたいへんありがたかったです。たとえば天守を下から見上げる構図の絵に不可欠の、屋根を支える垂木(たるき)の本数が何本不足なというご指摘があったことが印象に残っています。

夏目・黒川さんに土壇場で絵を書き直してもらったこともありましたが、そのおかげで天守の絵に関して、読者から修正を求められることが一件もありませんでした。

黒田・連載開始までの準備期間の長さは？ また準備段階で行ったことは何ですか。

夏目・古くから本作品の構想はありました。第一巻の巻末についている「江戸城再建」誕生秘話」という短編は、八年前に小学館本社ビル建て替えのため住友商事竹橋ビルに一時移転していたときのお話です。そこから皇居東御苑がよく見えまして、連載開始前に二年半くらいかけて、黒川さんと具体的なプロットの検討を行いました。

↓P2,3に続く

100万人
賛同署名運動
推進中!

62,252筆
9月24日現在

CONTENTS

4	3-1	連載漫画「江戸城再建」完結記念座談会「東京の空に天守が聳える！」九月以降の活動を加速
6		オンライン講座「江戸城天守物語」
7		江戸城サロン・リモート講座
8		委員会制発足/江戸城天守模型公開歴史に残る名城の天守⑧「日本初の天守」會員のひろば・新規入会・寄附者事務局からのお知らせ
		当会入会案内
		オンライン講座シリーズ「江戸城天守物語」援後/千代田区観光協会

『江戸城再建』の あらすじ

二〇二〇年、大手デベロッパーの社員である堀川昇吾が「皇居東御苑内に江戸城天守を再建する」というプロジェクトを提案するところから物語が始まる。社内には発足したプロジェクト推進室を足場にして宮内庁、文化庁との交渉を経て、国民に天守再建賛同署名を呼び掛ける。首相補佐官を通して首相への具申が実現。その後署名が一〇〇万筆を越えたことが首相の決断を促した。小学館「ビッグコミック」二〇一九年六月二十五日号、連載開始/二〇二〇年八月一〇日号連載終了、全一五話は三巻の単行本として刊行された。

二〇一九年六月二六日にビッグコミックで連載開始



黒田涼氏
当会顧問 作家 江戸歩き案内人



黒川：私にとって連載漫画のデビュー作になりますので、主人公のキャラクターデザインを徹底的に練り上げました。堀川A、堀川B、・・・と何パターンもの堀川昇吾（主人公）を作りました。

全一五話の中で最高の一コマは？

黒田：皆さんそれぞれの立場から最高の一コマを選ぶとどのコマがベストになりますか。私から口火を切ります。
第三巻第一三話の中で、場面が

黒川清作氏
漫画家「江戸城再建」作者



急に江戸時代になったと思っただけで、四代将軍家綱に幕臣たちが明暦の大火の善後策を具申する場面になりました。そこに保科正之が出てきて、天守再建より城下町の復興を優先することを具申した後「いつか然るべき時に然るべき者が現れ、必ずや天守再建を果たすでしょう」と名セリフを発したコマです。まさに今を然るべき時にしたいとい



第3巻第13話 P103 黒田氏推薦

皇居東御苑内に、江戸城天守閣の再建を提案します。



第1巻第1話 P14 (夏目氏推薦)

う自分の想いと重なりました。黒川：このシーンは感動しながら書いていました。黒田：夏目さんの最高の一コマをお願いします。夏目：第一巻第一話の中の全社企画会議にて堀川昇吾が「皇居

東御苑内に江戸城天守の再建を提案します」と発言したシーン、物語の開幕を宣言するコマです。提案を発する堀川の表情を見ると、この目力をもつこの人物なら天守再建を実現できるという気持ちにさせられます。



第2巻第9話 P143 (黒川氏推薦)

黒田：絵に気持ちを込めることができることが漫画の強みですね。黒川さんの最高の一コマをお願いします。第何巻ですか。黒川：第二巻です。黒田：事前の打ち合わせがないのに三人の選択がうまく分けられましたね。黒川：第二巻第九話の中の、署名数が五〇万筆を越えたという電話連絡が入った瞬間の堀川昇吾の表情です。この時点の目標を下回ったまま打ち合わせに臨んだ堀川の元に、入社後プロジェクトに初参加のスタッフから、秘策が当たって目標を越えたという一報が入りました。最初は喜びを爆発させた表情を書いたのですが、スタッフの成長と成果への喜びがぐっときた表情に変えました。(次のページの四コマ目、

堀川の手が小さく震えているところも見落とさないでください。)

物語にコラムが 現実味を与えました

黒田・私のコラムと漫画の相乗効果はいかがでしたか。

夏目・評判がよかったですよ。このように毎号漫画とコラムを組み合わせたのはよかったです。フィクションである漫画を読んだ方々が実際はどこまで進んでいるのか知ってリアリティを感じるために、このコラムはぴったりの内容でした。実際、東京の様々な問題を見直すことができたという読者の声がありました。

黒田・漫画の世界で示された視点から東京の現実を見つめました。江戸城天守を再建することが絵空事ではなく、多くの



夏目毅氏
小学館ビッグコミック編集部

問題に立ち向かうヒントを提供しています。皆さんは京都や奈良の歴史に関心があっても東京の歴史に関心が少ないことが多いです。スカイツリーがこれからの東京のシンボルにはなれないだろうと思います。

夏目・第三巻の表紙には、江戸城天守とその両側にスカイツリーと東京タワーを並べました。これらを観光資源として見るなら、江戸城天守であれば年月が経過して古くなればなるほど価値を増していくシンボルになります。

黒田・黒川さんの次回作の予定はどうなっていますか。

夏目・黒川さんは時代劇を書きたいという希望を持っているくらい、実はチャンバラのアクションシーンを得意としています。江戸城再建は歴史とのかかわりは深いですが、アクションではなく会話シーンの積み重ねで話が展開していく作品でしたので、時代劇も描いてほしいですね。

黒田・江戸城の縁からいくと、太田道灌を主人公とする作品もありですね。

編集部・太田道灌公は江戸城初代築城者でしかも百戦錬磨の武将だったですね。ぜひその物語も読んでみたいですね。本日は、本誌の座談会にご協力くださり、貴重なお話し聞くことができ御礼申し上げます。

「編集部」座談会は一時間半に及び沢山の苦労話が披露されましたが、誌面の都合で割愛した部分があります。動画で記録しておりますので、今後ユーザーズなどでご紹介することも計画しております。なお漫画の全一五話が全三巻の単行本となり発売中です。全国でお城ファンだけでなく広く一般の人々にも読んでいただくように会員の皆様にもご推薦をお願いいたします。

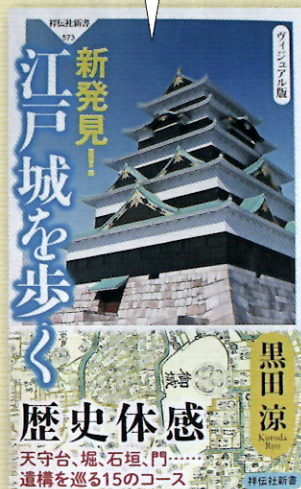
この物語の主人堀川昇吾の夢は当会の運動の目指すところと一致し、多くの課題も共感するところ。今後の運動に多くの示唆を与えてくれます。これを契機に、「江戸城天守再建」の運動が力強く進むこと期待しましょう。



座談会終了後、皆さん、全3巻をもって、江戸城再建が夢から実現へ変わることを期待していました。

黒田涼の本

祝『江戸城再建』(小学館刊) 全3巻 完結!



祥伝社新書
「新発見! 江戸城を歩く」
定価: 1150円+税

各巻 定価: 591円+税 全国書店で販売中です。
完結記念トークショーはコロナウイルス対策の自粛で中止されました。
なお、当会では、イベント会場などで3巻セットを1500円で割引販売します。
事務局へお問い合わせください

コロナ禍を配慮しつつ

九月以降の活動を加速

集合セミナーやツアー開催、大手門でのチラシ配布の再開に踏み切れない状況が続いています。この状況下ですが、リモートによる講演会を開催するほか、インターネットでの情報発信を拡充します。また活動に支部長・会員の力を得ることを目的に委員会をたちあげました。

オンライン講演シリーズ

「江戸城物語」全一〇回

九月から毎月一回実施

後援：千代田区観光協会

特別顧問、ビッグコミック連載場漫画『江戸城再建』を監修された三浦正幸氏による全一〇回にわたる「江戸城天守および江戸城下町を様々な角度から取り上げるセミナー」（講師：三浦先生）をオンラインで開催いたします。

三浦先生はこの講座のために、ご自身の調査研究による、お城など伝統的な木造建築の建築設計図などを、貴重な資料を提示して下さる予定です。会員のみならず多くの城郭ファンに視聴していただきたい講座です。

全一〇回の実施要項、参加申し込みなどは、本誌八ページ（裏表紙）に掲載しました。申込方法などを参照ください。本誌折込の案内チラシを折り込んでいます。ホームページ／Facebookも参照ください。

年末の行事予定

■岩本町・東神田ファミリアバザール
（二月二八～二九日、二月五～六日開催予定）

お城EXPO

（二月一九～二〇日）

於：パシフィコ横浜ノース

支部長主導の

江戸城サロン・リモート講座

得意分野を持っていらっしゃる支部長に講師を務めてもらう「歴史講座」を月一回開催する計画の元、今年度はスタートしたはずでした。ところが2月以降、コロナ禍のため中止・休止を余儀なくされていましたが、リモート講座という形でセミナー活動を復活します。

会員の皆様は「江戸城サロン・リモート講座」に無料で参加できます。事務局へ事前に申し込んだうえ、ご自宅のパソコンもしくはスマホをご覧ください。年内に実施する第三回目までの予定は以下

の通りです。開始時間はすべて午後二時からです。

▼10月11日「江戸の街から見た江戸城」鈴木俊也氏（江戸城ガイド・クラブツアーナビゲーター）▼11月8日「来年のNHK大河ドラマを楽しむ秘訣・渋沢栄一×徳川慶喜との関係を知ること」澤内隆氏（江戸城ガイド・東京シティガイド登録）▼12月6日「カメラを通して美しいお城」山本啓一氏（プロカメラマン）／以下計画中

委員会制発足

理事・支部長・会員参加

去る七月の理事会において、左記のような委員会を設置することが決定されました。

執行理事会を発展的に解消し、理事全員自由参加の企画会議で理事会に付議する案件の企画立案を行うこととします。

委員会の構成は、今後各委員会に参加者を募り体制を整えていく予定です。「委員会」の下に「部会」「分科会」を置いて支部長・会員に参加していただきます。

当初設置する委員会は以下の通りです。（凡例：○委員会、◇部会、▽分科会）

- 企画委員会（委員長：寺村理事）
- 会の運営全般を担当
- ◇中期計画部会（部会長：島田理事長）
- ◇新規プロジェクト企画部会

●コンプライアンス委員会

（委員長：鬼丸かおる理事）

●イベント実行委員会

（委員長：初鹿理事）

◇散策・講演部会

◇名城巡り・江戸城サロン・講座

◇お城・新春等各種外部連携イベント部会

●広報委員会

（委員長：包原理事）

◇広報企画部会（部会長：初鹿理事）

◇外部マスコミ担当◇政府及び千代田区観光局・小学館等外部折衝担当◇安土城等城郭担当

◇かわら版部会（部会長：包原理事）

◇かわら版編集・制作 ▼ちよだタイムズ共同企画 ▼誌面構成・記事等提案

◇SNS部会（部会長：寺村理事）

◇HP・ブログ分科会 ▼FB・ツイッター分科会 ▼YouTube・インスタ分科会

●支部委員会

（委員長：百瀬理事）

※支部長から意見を吸い上げ会員拡大策を中心に提言／リモート会議を毎月実施

※八月二八日に一三名の支部長が集まり第一回を実施。次回は一月三一日実施

●地域連携委員会

（委員長：高山理事）

●署名活動委員会

（委員長：秋山理事）

寛永度天守の模型、公開される
天下泰平を遂げた象徴の再建が
待たれるところですよ



9月29日に宮内庁は東御苑で寛永度天守模型を公開。この模型見学とARアプリ体験を兼ねて東御苑散策を再開する予定です。



台模型が設置されている建屋。高さ2m、実物の30分の1。

エコ木材、エコ環境推進の会社

日青木材株式会社

代表取締役 青木行雄(当会理事)

〒136-0082 東京都江東区新木場3-9-9

TEL: 03 (3552) 1181 FAX: 03 (3522) 1184

https://nisseimokuzai.com

この連載の第三回「安土城天主」のところで、信長が永禄一年（一五六八）（一二年と誤記していました）頃に岐阜城の山麓に建てた四階建ての住まいに「天主」と命名したのが天守の始まりであったと記した。これは多くの城郭研究者に認められている説であるが、近年、信長当時の「天下」の意味について、日本全土を示すものではなく、当時の室町将軍家の権威が直接的に及んでいた狭い地域であろうという異論が出ている。そこで、日本初の天主（天守の当初の名）について、再度、触れておきたい。

さて、信長と親交があった宣教師ルイス・フロイスが著した『日本史』には、「天下」という語が散見されるが、それによると、「この頃、日本のモナルキア（君主国）すなわちテンカ（天下）を三人の異教徒の殿たちが統治していた」としており、当時、天下とは君主である室町幕府将軍の実効的支配地のことであり、三好三人衆がその実権を握っていた地域やその周辺であったと解釈できる。せいぜい、京と摂津・大和・近江・河内近辺の範囲（現在の兵庫県南東部と大阪府・京都府・奈良県・滋賀県）にならう。天皇については、「全日本の国王なるオウ（皇）」としていて、天下よりはるかに広い日本の国王という。

そして、永禄一二年、信長が将

軍足利義昭のために京都に二条城（現在の二条城とは別位置）を築いていた工事現場にフロイスは信長を訪ねているが、信長は「予がこの宮殿と城の中で、テンカ（天下）の君のために造営した総ての建物」を伴天連（宣教師）に見物させよと家臣に命じている。それらのことからすると、「天主」という名称は、信長が天下の君である義昭のために築いた二条城において初めて付けられたものと推定される。すなわち天主とは、将軍の権威を示す高層建築に名付けられたものであろう。したがって、「天主」は天下を支配する主である將軍を意味する。なお、この二条城に「天主」が実在したことは、当時京都にいた吉田兼見の日記に登場するので確実である。

二条城天主の建築形態は、それよりやや先行して永禄一〇〜一一年に信長が岐阜城に建てた四階建ての宮殿が嚆矢であろう。フロイスの『日本史』によると、彼は永禄一二年に岐阜城を訪れて信長に歓待されているが、その山麓には新築されたばかりの四階建ての御殿があった。その一階は廻縁があり（すなわち天守台の石垣はない）、金碧障壁画で飾られた二〇ほどの座敷が連なっており、信長の宮殿であった。二階は廻縁のある婦人部屋で、一階より優れており、おそらく信長の夫人や侍女が住んでいた。三階には茶室があったという。四階は後世の天守と同様に物見の階であつたらしく、三階と四階の廻縁から岐阜の全市が展望できたという。この岐阜城の

御殿こそが天主の原型となった建築である。

なお、この岐阜城の宮殿が初めて「天主」と名付けられた建築だとすると、信長が命名した「岐阜」（古代中国の周の文王が天下取りを祈願した岐山と孔子の故郷の曲阜に由来）という中国思想の地名からして、「天主」は中国の皇帝を任命する天帝（神）ということになり、その当時から信長には、日本はおろか中国まで支配する君主の任命権者である、治天の君になる願望があつたといえよう。

それから3年ほど経った元龜三年（一五七三）、明智光秀は自己の居城の坂本城（滋賀県大津市）に「天主」を築いていた。信長の重臣たちは、自己の居城を築く際に、場所や規模などについて信長からいちいち指示を受けていたのだから、坂本城の天主建設も信長の指示だったはずである。その頃には、信長と將軍義昭の不仲は決定的になっていった。信長は家臣にすぎない光秀の城に天主を建てさせることによつて、義昭の権威の失墜を天下に示すのが目的だったと思われる。

話し変つて、義昭の二条城天主や光秀の坂本城天主の実像については、記録がなく不明である。その後、天正七年（一五七九）に信長が建てた五重六階地下一階の安土城天主より小規模であったのは間違いない、岐阜城の四階建て宮

殿（二重四階か三重四階）よりは大きかったと考えられる。そうすると、三重四階か四重五階の規模と考えられる。もちろん御殿の屋根上に望楼を上げた古式な望楼型である。

外壁については、書院造の御殿を高層化した建築だったので、格式が高い形式だったはずである。後世の天守に見られるような分厚い大壁造（柱が埋もれて見えない壁）の漆喰塗籠や、黒塗りの板を張つた下見板張り、土蔵や民家に用いるような低格式なので、天主には全く相応でない。格式の高い真壁造だったはずで、柱や長押を白木または黒漆塗りにして外部に見せており、漆喰塗りの白壁に黒漆塗りの突き上げ戸を吊つた窓が想定される。下見板張りが古式で、塗籠が新式だとする従来の説はすでに時代後れであつて、草創期の天主の外壁については、そのいずれでもない。

以上のような推理からすると、幻の二条城天主と坂本城天主は、現存する福山城伏見櫓（広島県）の外壁の柱や長押を黒く塗つたような外壁で、最上階に廻縁をつけたものとなる。二条城天主と坂本城天主は、現在放送中の大河ドラマ「麒麟がくる」に登場するので、是非とも御覧になっていただきたい。

三浦正幸

広島大学名誉教授
当会特別顧問

特別寄稿

歴史に残る名城の天守

第13回 日本初の天守

「二条城天主」か「岐阜城天主」



福山城伏見櫓

会員のひろば



投稿、提案、当会
イベント情報、
支部活動報告
などを随時
掲載します。

東京にランドマークを 出口真示（東京都）

東京駅降りて見える景色、主要都市に存在するお城がない。歴史的建造物が欲しい。江戸城跡には皇居しかない、と勝手に思い込んでいました。まさか天守台があるとは、貴会のホームページを見る迄知りませんでした。長い道のり、高い壁ですが、東京の真正正銘のランドマークタワーが実現出来たら良いなあと思いい入会しました。生まれも育ちも西日本ですが、何かに役立てればと思います。

江戸城復活後の 世界を描きたい 森永晃文（東京都）

私は「道玄晃文（どうげんこうぶん）」というペンネームの作家志望者です。なにか書くテーマはないかと探していたところ、「江戸城再建」（黒川清作著）に出会いました。内容に感銘を受け私も江戸城復元に向けてなにか活動してみたいと思いました。そこで「江戸城再建」が再建に向けて活動する話ならば、私は江戸城を復活させた後の世界を描く作品を書いてみようと思いましたが。タイトルは「復活・江戸城！」です。その執筆の取材活動をしたと思うたのが、この会に入会しよう思っただきかけです。この「復活・江戸城！」を広めることができれば、江戸城復元の機運を高めることができるのではないかと考えています。江戸城復元にはロマンがあります。元気がない今の日本にインパクトを与えるものとなると思います。この会を通して江戸城復元にむけての道を皆で歩いていければと思っております。

江戸城天守もやがて 私たちにではなくては ならないものとなる 和田謙二（神奈川県）

「江戸城天守」。まさか、このよう重要なかつ有意義なものの再建構

想があるとは予想しておりませんでした。しかし考えれば考える程、この構想は日本にとって非常に意味あるものと気付きました。都の象徴としての意義、観光的価値、さらには日本人一人一人の心の中に有形無形の影響を与えるであろう大きくて美しい存在。それは、きつと人々の心に染み入るように入っていく、なくてはならないものになる、そう感じました。夏の風景や花火や雪山や海、こうしたものを見るたびに日本人の心に呼び起される感情。これが人々を一つにしている正体だと思えます。「江戸城天守」はそのようなものになる。私は確信しています。

小学生の新規入会者の お母様からメールを 頂きました。 諸吉幸恵（東京都）

先月入会の諸吉良哉の母の諸吉幸恵と申します。会員証およびバッジを受け取りました。ありがとうございます。息子は大変喜んでおり、小学校へ持って行く鞆にバッジをつけて、お友達にも江戸城天守再建について広めたいと申しております。

「私の夢」 武蔵野支部長 和泉潤一

私の夢は皇居が美しい江戸城にあることです。現在、皇居は江戸城跡にあります。江戸城天守が再

建されると田安門、清水門、富士見櫓等みんな現役に復帰し、かつての江戸城が蘇ります。徳川時代二六〇年間、朝廷と幕府が一体となって平和な時代を築きました。徳川將軍は天皇から征夷大將軍に任命されて日本を統治し、朝廷からは徳川將軍の正室を内親王又は五攝家から出しました。皇居が江戸城にあることは喜ばしいと思います。でも江戸城跡にあるのは寂しくなります。天守再建して江戸城として皇居を見守ってほしいと願っています。

◆ご投稿ありがとうございました。

「江戸城天守再建の歌」 作詞／青木行雄（当会理事）

- 一 日本の名城 かの地の中に
実現目指し 再建すれば
国の観光 誇れる宝
再建しよう 日本の為に
ああ ああ 江戸城天守再建
- 二 日本の伝統 歴史のお城
代々続いた 天下の名城
振袖大火 失われたが
再建進む われらの力
ああ ああ 江戸城天守再建
日本が誇る 歴史のお城
木造造りの 見事な館
実在すれば 観光名所
再建目指し 我らで造る
ああ ああ 江戸城天守再建
- 三

※理事の青木行雄氏が作詞され、どなたか作曲してほしいとのこと。我こそはと思う方は事務局にお問合せください。



全国支部長紹介

六本木支部長
立原慎太郎氏

事務局からのお知らせ



住所変更届けのお願い

「ご住所・電話番号などが変更になりましたら、ファックスや電話で早めにご連絡ください。会からのお知らせが届かなかつたりします。」

メールアドレス登録のお願い

メールアドレスをお持ちの方は事務局にメールをお送りください。イベント等の情報をお届けします。

年会費納入のお願い

それぞれの会員の皆様の「ご入会月に次年度の「年会費納入のお願い」をお送りしています。かわら版を同封することがあります。ご協力のほどお願い申し上げます。

年会費納入法

◆年会費カード決済

年会費納入や寄附金の決済は、クレジットカードにも対応しています。カード決済ご希望の方は、当会ホームページからどうぞ。(12月にはカード決済の方は自動継続扱いが可能になる予定です。恐れ入りますがしばらくお待ちください。)



◆年会費自動払込(ゆうちょ銀行)

当会では、ゆうちょ銀行口座からの年会費自動払込を行っています。郵便局に向く必要がなく大変便利です。ぜひご利用ください。「ご希望の方は事務局までご連絡ください。申込書をお送りします。」

「日本の絆基金」寄附は税の優遇措置があります。ご検討ください。



「日本の絆基金」を利用して当NPO法人へ一万円以上ご寄附いただいた場合には、税制上の優遇措置が受けられます。翌年の確定申告で約四割が戻ります。

詳細は当会のホームページ「寄附」の欄をご覧ください。

なお、「かわら版」前号と今号は、公益財団法人公益推進協会の「日本の絆基金」の残高九一万円を助成金として受けて発行します。

「かわら版」への広告募集

前々号から誌面を刷新しましたが、さらに内容を充実していくために広告収入増を期待しています。当会活動に賛同してくださる方、法人個人を問いません、ご協力お願い申し上げます。皆様のお知り合いの法人個人の方をご紹介ください。名刺広告も歓迎です。サイズなどは事務局にお尋ねください。



※「かわら版」への投稿、提案、お問合せは、事務局宛に郵便・FAXまたはメールにてお願いします。
〒101-0065
東京都千代田区西神田 2-5-7-505
E-mail = info@npo-edomo.org

363年前に焼失した江戸城天守を、東京のシンボルとして甦らせたい。そんな思いを共有する人たちが集うNPO法人です。2006年NPO法人設立。当会主催の各種イベントや講演会のご案内をするほか、会報『かわら版』(年4回)をお届けします。

江戸城天守を再建する会 入会案内

会長：太田資暁 (太田道灌公18代子孫)
理事長：島田昌幸 (テレビ東京特別顧問)
年会費：正会員 (個人) 10,000円
正会員 (法人) 100,000円
賛助会員 (個人) 3,000円
賛助会員 (法人) 50,000円
入会手続
1 ホームページ(クレジットカード)
2 ゆうちょ銀行・払取扱票
▶詳しくは当会事務局へお問合せください。

虎ノ門市場

毎日、幸せごはん。

月～金曜日

午前11時00分・夕方17時10分

テレビ東京・BSテレ東 毎月1回スペシャル番組を放送中! <http://www.toranomon-ichiba.com/>

オンライン講座シリーズ「江戸城天守物語」

全10回スタート!

「江戸城物語」全10回 講座内容

●令和2(2020)年度

9月～12月開催分 時間は全て14時～16時

講師 三浦正幸 (第3回を除く)

第1回▶9月20日(日)終了

「江戸城寛永度天守の隔絶した構造と意匠～史上随一だった平面規模・高さ・豪華・用材・耐震性能・耐久性・耐火性能」

第2回▶10月25日(日) 締切10月21日

「江戸城本丸御殿と御殿での暮らし～世界最大木造建築群の使われ方」

第3回▶11月22日(日) 締切11月18日

講師 西田幸夫 (埼玉大特任准教授)

「明暦の大火と江戸の街づくり」

第4回▶12月20日(日) 締切12月16日

「お江戸の城下町と人々の暮らし～明暦の大火で激変」

●令和3(2021)年度 講座名のみ紹介

第5回▶「江戸城の構造～世界最大の城郭の縄張りと史上最大の城門」

第6回▶「江戸城天守に関わった人物～徳川家康・秀忠・家光・中井正清・

甲良豊後・保科正之・新井白石」

第7回▶「江戸城寛永度天守の再建の実務的課題～天守台石垣・用材確保・

伝統的木造建築技術・左官技術等」

第8回▶「江戸城天守再建の法的課題～

文化財保護法、国有財産法、建築基準法、都市計画法等」

第9回▶シンポジウム

「世界各国における歴史的建造物の再建」

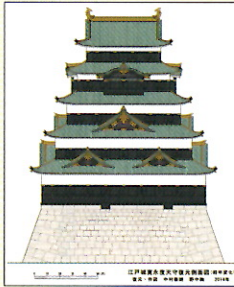
第10回▶シンポジウム

「江戸城天守再建に向けて」

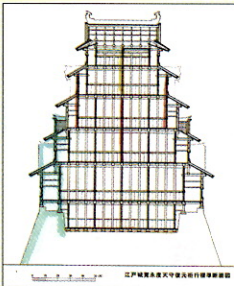
途中参加も歓迎です

コロナウイルスで当会の今年度のイベントは春以来全て中止となってきましたが、三浦正幸先生を講師に迎え、オンラインによる「江戸城天守物語」講座を全一〇回で開催します。

九月二〇日の第一回は、左表のようなテーマを四話に分けて講演されました。そもそも天守と何か、江戸城天守は高さ、面積、容積において、何を圧倒する、天下泰平ここに極まれりとはかりにその巨大さを誇るものであったこと、その木造建築の技術の発達は実は奈良時代の寺院建築で森の巨木が枯渇しそれを補うため技術の向上が必然だったことなど、貴重な図とともに話が進み、改めて江戸城天守の凄さを知ることができました。江戸城天守再建を目指す者にとっては見逃せない講座です。第二回は一〇月二五日です。



寛永度天守 即面図



寛永度天守の 柱の構造

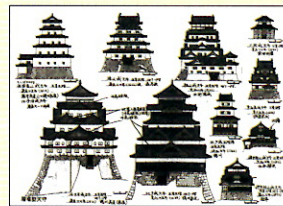


後援：千代田区観光協会



講師 三浦正幸 広島大学名誉教授 当会特別顧問

自宅で講演



層塔型天守の 大きさ比べ 前列左：名古屋城天守 中央：江戸城天守

参加費 会員無料(入会申込者を含む) 非会員 3,000円

申込締切 当会事務局にお名前・メールアドレス・電話番号をお知らせいただくともに、非会員は3,000円をお振込みください。

振込先

三井住友銀行光が丘支店 特定非営利活動法人 江戸城天守を再建する会 口座(普) 0851894 ゆうちょ銀行ATMから振込 〇一九支店 0578881 NPO 江戸城再建 口座 00120-9-578881 申込・問合せ 当会事務局 (月～木:10:30～16:30) 住所・電話等はページ下段参照。



東大寺転害門 巨木が 使われている

松江城天守の内部 通し柱に 板を貼り 補強している



働く・住む・過ごす融合したスマートシティを創造

大規模複合施設「東京ポートシティ竹芝」篇

私たちのライフスタイル創造は、時代とともに進化してきました。テレワーク普及の一方で、都心では職住近接もまた注目を集めています。「時間」や「場所」の概念が大きく変わる未来を見通して、東京湾に開かれた竹芝エリアで私たちが取り組んでいるのが、先進的なテクノロジーを活用したスマートシティの構築。オフィスタワーとレジデンスタワーからなる「東京ポートシティ竹芝」は都市型のライフスタイルを、よりいっそう快適でスマートに。水と緑を感じられる豊かな環境は、生物多様性保全にも貢献します。テクノロジーの力で、働き方・住まい方・過ごし方を融合していく――。多様化する生活シーンを支える、次世代のライフスタイル創造です。



東急不動産は、東急不動産ホールディングスの一員です。



美しい時代へ 東急グループ



江戸城かわら版 Vol.57 令和2(2020)年10月1日発行 発行所/NPO法人江戸城天守を再建する会 発行人/島田昌幸 〒101-0065 東京都千代田区西神田2-5-7-505 TEL.03-6423-1882 FAX.03-6423-1897 Mail = info@npo-edojo.org URL = http://npo-edojo.org Facebook = http://www.facebook.com/npoedojo